

# 平成 31 年度 数学科 3 年 年間指導計画・評価計画

## < 1 > 教科の目標

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

## < 2 > 各学年・各分野の目標

1、数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を伸ばすとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。

2、図形の相似、円周角と中心角の関係や三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。

3、具体的な事象を調べることを通して、関数  $y=ax^2$  について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を伸ばす。

4、母集団から標本を取り出し、その傾向を調べることで、母集団の傾向を読み取る能力を培う。

## < 3 > 評価の観点及びその趣旨

数学への関心・意欲・態度	数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を活用して考えたり判断したりしようとする。
数学的な見方や考え方	事象を数学的にとらえて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付ける。
数学的な技能	目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったり、簡単な多項式について、式の展開や因数分解をしたりするなどの技能を身に付ける。
数量や図形などについての知識・理解	数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。

## < 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

- ① 生徒の言語活動を充実させる指導。← 思考力・判断力・表現力の育成。
- ② 体験的な学習や問題解決的な学習。← 自主的・自発的な学習の促進。
- ③ 学習の見通しを立てたりする学習。学習を振り返ったりする学習。
- ④ 個に応じた指導の充実。→ 個別指導 少人数指導 習熟の程度に応じた指導  
 繰り返し指導 生徒の興味・関心に応じた課題学習  
 I C Tを活用した学習 補充的な学習 発展的な学習

数学科 3 学年 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準
			関	見	技	知	評価の方法
4 月	1 章 多項式  1 節 多項式の計算 8 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ (単項式) × (単項式) の計算の方法と、その計算をすること。</li> <li>○ (多項式) ÷ (単項式) の計算の方法と、その計算をすること。</li> <li>○ 多項式と単項式の乗除を含むやや複雑な計算をすること。</li> <li>○ (2 項式) × (2 項式) の計算の方法と、その計算をすること。</li> <li>○ 展開の意味</li> <li>○ かっこの中の項が多い式を展開すること。</li> <li>○ 乗法公式が成り立つことを、式を展開して確かめる。</li> <li>○ 乗法公式を使って式を展開すること。</li> <li>○ X の項に係数がある式について、乗法公式を使って展開すること。</li> <li>○ 式の一部を 1 つの文字に置き換えて式を展開すること。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【関心】</li> <li>①乗法公式を式の展開に活用しようとする。</li> <li>● ・教師の観察、提出物点検</li> <li>● 【見方・考え方】</li> <li>①多項式どうしの乗法を、一方の多項式を1つの文字におきかえ、分配法則を利用して計算する。</li> <li>● ②多項式どうしの乗法について、</li> <li>● 典型的な場合の公式 (乗法公式) を考えようとする。</li> <li>● ・小テスト、定期テスト</li> <li>● 【技能】</li> <li>①分配法則を用いて、多項式と多項式の乗法の計算ができる。</li> <li>● ②乗法公式を利用して、式を展開することができる。</li> <li>● ③乗法公式を用いて、式の計算ができる。</li> <li>● ・小テスト、定期テスト</li> <li>● 【知識・理解】</li> <li>①乗法公式がいえる。</li> <li>● ②展開や乗法公式の意味がわかる。</li> <li>● ・小テスト、定期テスト</li> </ul>	
	2 節 因数分解 6 時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 長方形と正方形の紙を組み合わせて長方形を作る活動を通して因数分解の意味を知ること。</li> <li>○ 因数、因数分解の意味</li> </ul>	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【関心】</li> <li>①式の因数分解を、公式を用いて能率的に行おうとする。</li> <li>● ・教師の観察、提出物点検</li> </ul>	

		<p>○共通因数をくくりだして式を因数分解すること</p> <p>○乗法公式を逆に使って式を因数分解すること</p> <p>○共通因数をくくり出してから公式を利用し、式を因数分解すること。</p> <p>○式の一部を1つの文字に置き換えて式を因数分解すること。</p>			●		<p><b>【見方・考え方】</b></p> <p>①展開の逆の処理として、因数分解をとらえることができる。</p> <p>②乗法公式の逆の式を因数分解の公式とみることができる。</p> <p>②式の展開や因数分解を利用して、色々な問題解決ができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>①多項式を因数分解することができる。</p> <p>②式の展開や因数分解を利用して、色々な問題解決ができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>①因数分解の公式がいえる。</p> <p>②因数や因数分解の意味がわかる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【関心】</b></p> <p>①式の展開や因数分解を数計算に利用しようとする。</p> <p>・教師の観察、提出物点検</p> <p><b>【見方・考え方】</b></p> <p>①式の計算を利用して、数の証明ができる。</p> <p>②展開や因数分解を式による証明に利用できる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>①式の展開や因数分解を数計算に利用して、簡単に計算することができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>①式の展開や因数分解を数計算に利用して、簡単に計算することができることを知る。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p>
5月	3節 式の計算の利用	<p>○式の展開や因数分解を数計算に利用して、簡単に計算すること</p> <p>○式の計算を利用して、数の性質を証明すること。</p> <p>○幅の一定の図形の面積は、(幅) × (中央を通る線の長さ) で求められることを、式の計算を利用して考えること。</p> <p>○<math>15 \times 15</math>や<math>25 \times 25</math>のような式の計算の方法について考え、これを証明すること</p>	●	●			
	4時間		●	●			
			●				

	<p>2章 平方根</p> <p>1節 平方根</p> <p>6時間</p>	<p>○2乗すると50になる数の値を求めること</p> <p>○根号の意味</p> <p>○電卓を使って平方根の近似値を求めること</p> <p>○平方根の意味</p> <p>○数の平方根を求めること</p> <p>○平方根に関する基本性質</p> <p>○<math>\sqrt{\quad}</math>の意味とその使い方</p> <p>○平方根の大小を不等号を使ってあらわすこと。</p> <p>○無理数、有理数の意味</p> <p>○今までに学んだ数を分類すること</p> <p>○有理数と無理数は、数直線上の点と対応させることができること。</p> <p>○因数、素数、素因数、素因数分解の意味</p> <p>○数を素因数分解すること</p> <p>○素因数分解はどんな順序で行っても同じ結果になること</p> <p>○素因数分解を利用して、平方根を求めたり、平方因数をみつけたりすること</p>	●	●	●	<p><b>【関心】</b></p> <p>①素因数分解をすることによって数のしくみを理解しようとする。</p> <p>②平方根の必要性を知り、その値を求めようとする。</p> <p>● 教師の観察、提出物点検</p> <p><b>【見方・考え方】</b></p> <p>● ①平方の逆の演算として、平方根の値が求められることに気づく。</p> <p>● 小テスト、定期テスト</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>● ①平方根を求めたり、不等号を用いて平方根の大小を表したりすることができる。</p> <p>● ②合成数を素数の積におきかえて考えることができる。</p> <p>● 小テスト、定期テスト</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>● ①根号を用いて平方根を表すことができる。</p> <p>● ②平方根、素数、素因数分解などの意味がわかる。</p> <p>● ③有理数と無理数が理解できる。</p> <p>● 小テスト、定期テスト</p>
6月	<p>2節 根号を含む式の計算</p> <p>10時間</p>	<p>○根号を含む式の乗法と除法の計算方法</p> <p>○公式を利用して数を変形すること</p> <p>○平方因数を根号の外に出すこと</p> <p>○分母の有理化の意味とその計算をすること</p> <p>○平方根のおよその値を求めること</p> <p>○根号を含む式の加法と減法の計算をすること</p> <p>○分母を有理化してから、根号を含む式を計算すること</p> <p>○分配法則を利用して根号を含む式の計算をすること</p> <p>○乗法公式を利用して根号を含む式の計算をすること</p> <p>○式に根号を含む値を代入して式の値を</p>	●	●	●	<p>● <b>【関心】</b></p> <p>● ①根号をふくむ式を簡単な形または必要な形に変形しようとする。</p> <p>● ②身の回りの中にある平方根を探そうとする。</p> <p>● 教師の観察、提出物点検</p> <p><b>【見方・考え方】</b></p> <p>● ①根号をふくむ式の計算においても、有理数の場合と同様の法則が成り立つことを理解し、根号をふくむ式の計算方法を見いだせる。</p> <p>● 小テスト、定期テスト</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>● ①根号の中の数を簡単にしたり分母を有理化したりして、根号のついた数を変形することができる。</p>

		<p>求めること</p> <p>○身の回りで、平方根が利用されている場面について考えること</p>	●			<p>②根号を含む式の計算ができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>①電卓などを活用して平方根の近似値を求めようとする。</p> <p>②根号のついた式の乗除や加減の計算のしかたがわかる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p>
7月	<p>3章</p> <p>2次方程式</p> <p>1節</p> <p>2次方程式とその解き方</p> <p>10時間</p>	<p>○2次方程式の意味、解の意味</p> <p>○2次方程式を解くこと意味</p> <p>○2次方程式に値を代入して解を求めること。</p> <p>○2次方程式を、平方根の考えを使って解くこと。</p> <p>○2次方程式を、平方の形に変形し、解を求めること。</p> <p>○Xの係数が奇数の場合の2次方程式を解くこと。</p> <p>○2次方程式の解の公式を導くこと。</p> <p>○解の公式を利用して、2次方程式を解くこと。</p> <p>○<math>A \times B = 0</math>ならば<math>A = 0</math>または<math>B = 0</math>であることを利用して2次方程式の解を求めること。</p> <p>○因数分解を利用して2次方程式を解くこと。</p> <p>○2次方程式をどの方法で解けばよいかを考えること。</p> <p>○いろいろな形をした2次方程式を(2次式) = 0の形に直して解くこと。</p> <p>○2次方程式の解を求めてから、式を因数分解すること。</p> <p>○2次方程式の解の値から式の係数を求めること</p>	●	●	●	<p>● <b>【関心】</b></p> <p>● ①2次方程式は、1次方程式とは解の個数がちがう方程式であることに気づく。</p> <p>● ②くふうして2次方程式を解こうとする。</p> <p>● ・教師の観察、提出物点検</p> <p><b>【見方・考え方】</b></p> <p>①因数分解によって2次方程式を解くことができる理由がわかる。</p> <p>②2次方程式の解の公式を導くことができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>①因数分解によって2次方程式を解くことができる。</p> <p>②2次方程式を平方根の意味に帰着させて解くことができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>①2次方程式とその解の意味が理解できる。</p> <p>②色々な方法で2次方程式を解くことができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p>

	<p>2節 2次方程式の利用 6時間</p>	<p>○今までに学習したいろいろな方程式を利用して、トランプの数を求めること ○数量の間の関係を2次方程式で表す時の手順 ○具体的な問題を、2次方程式を利用して解決すること ○図形の問題を、2次方程式を利用して解決すること。 ○方程式を使って文章題を解くときには方程式の解がそのまま答えになるとは限らない場合があること</p>	●	●		<p><b>【関心】</b> ①2次方程式を用いて、具体的な問題を解決しようとする。 ・教師の観察、提出物点検 <b>【見方・考え方】</b> ①2次方程式を活用して具体的な問題解決ができる。 ②解の吟味ができる。 ・小テスト、定期テスト <b>【技能】</b> ①具体的な場面の中の数量の間の関係をとらえて2次方程式をつくることができる。 ②2次方程式を活用して具体的な問題解決ができる。 ③解の吟味ができる。 ・小テスト、定期テスト <b>【知識・理解】</b> ①解の吟味の必要性がわかる。 ・小テスト、定期テスト</p>
8月 9月	<p>4章 関数<math>y=ax^2</math> 1節 関数<math>y=ax^2</math> 9時間</p>	<p>○ジェットコースターが斜面を下りる時の様子を、球が斜面を転がる様子を置き換えて調べること ○2乗に比例することの意味 ○事象の中から2乗に比例する量を見出し、式に表すこと。 ○1組のX、Yの値の組から<math>y=ax^2</math>の式を求めること ○<math>y=ax^2</math>のグラフがどのようになるかを、多くの点を取って調べること ○<math>y=ax^2</math>のグラフとその特徴 ○<math>y=ax^2</math>のグラフと<math>y=x^2</math>のグラフの関係を調べること。 ○<math>y=ax^2</math>のグラフを、<math>y=x^2</math>のグラフをもとにしてかくこと。 ○<math>y=ax^2</math>のグラフの特徴 ○関数<math>y=ax^2</math>の値の増減 ○変域の対応を調べること。 ○関数<math>y=ax^2</math>と1次関数の変化の割合を比べること ○関数<math>y=ax^2</math>の変化の割合を求める</p>	●			<p><b>【関心】</b> ①具体的な事象の中から関数<math>y=ax^2</math>を見だし、式に表そうとする。 ● ②身の回りにあるいろいろな関数を調べようとする。 ● 教師の観察、提出物点検 <b>【見方・考え方】</b> ● ①変化の割合に着目して関数の特徴をとらえることができる。 ● ②式やグラフの考察を通し、関数の特徴をとらえることができる。 ● 小テスト、定期テスト <b>【技能】</b> ● ①<math>y=ax^2</math>のグラフをかくことができる。 ● ②関数の変化の割合を求めることができる。 ● ③グラフを活用して、変域の対応を考えたり、具体的な問題を解決したりすることができる。 ● ④<math>y=ax^2</math>の式を用いて、具体的な事</p>



	<p>○三角形の相似条件</p> <p>○三角形の相似を相似条件から判断する</p> <p>○三角形の相似条件を利用して、図形の性質を証明すること</p> <p>○相似を利用して距離や高さをもとめる</p>		●	●	●	<p>③相似条件を用いて証明を記述することができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>①相似比の意味が分かり、比例式の性質を用いて対応する辺の比を求めることができる。</p> <p>②相似条件を用いて証明を記述することができる。</p> <p>③直接求められない高さや距離などを相似を利用して求めることができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>①相似な図形が理解できる。</p> <p>②三角形の相似条件が理解できる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p>
<p>2節</p> <p>平行線と比</p> <p>8時間</p>	<p>○ノートの罫線を3等分する方法とその方法で3等分できるわけを考える。</p> <p>○三角形と比の性質と、それを利用して辺の長さを求めること</p> <p>○中点連結定理と、それを利用して図形の性質を証明すること</p> <p>○平行線と比の性質</p> <p>○平行線と比の性質を利用して、線分の長さを求めること</p> <p>○平行線と比の性質を利用して、線分を等分したり、図形の性質を証明したりすること</p>	●	●	●	●	<p><b>【関心】</b></p> <p>①中点連結定理の意味が分かり、それを使って図形の性質を導こうとする。・教師の観察、提出物点検</p> <p><b>【見方・考え方】</b></p> <p>①平行線の比の性質を利用して、色々な線分の長さを求めることができる。・小テスト、定期テスト</p> <p>②三角形と比、平行線の比の性質を使って、図形の性質を導こうとする</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>①三角形と比の性質を利用して、色々な線分の長さを求めることができる。</p> <p>②平行線の比の性質を利用して、色々な線分の長さを求めることができる。</p> <p>③三角形と比、平行線の比の性質を使って、図形の性質を導こうとする</p>

						<p>る。・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>①三角形と比についての色々な性質が分かる。</p> <p>③平行線と比についての色々な性質が分かる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p>
11月	<p>3節 相似な図形の面積と体積</p> <p>5時間</p>	<p>○相似な平面図形の相似比と面積比の関係を調べる</p> <p>○平面図形の周や面積を、相似比を利用して求めること</p> <p>○立体の相似</p> <p>○相似な立体の相似比と表面積の比、体積比の関係を調べること</p> <p>○立体の表面積や体積を、相似比を利用して求めること</p> <p>○具体的な問題を、立体の相似比を利用して考えること</p>	●	●	●	<p><b>【関心】</b></p> <p>①相似比と面積の比について考えようとする。・教師の観察、提出物点検</p> <p><b>【見方・考え方】</b></p> <p>①相似な図形の面積、体積を相似比を利用して求めることができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>①相似な図形の相似比と面積比、体積比の関係が理解できる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p>
6章	<p>円</p> <p>1節 円周角の定理</p> <p>5時間</p>	<p>○円周角の意味</p> <p>○円周角の定理とそれを証明すること</p> <p>○円周角の定理を利用して、円のいろいろな角の大きさをもとめること</p> <p>○円周角と弧の定理</p> <p>○円周角と弧の定理を利用して角の大きさを求めたり、図形の性質を証明したりすること</p> <p>○直径と円周角の定理</p> <p>○直径と円周角の定理を使って角の大きさを求めたり、図形の性質を証明したりすること</p> <p>○円を、角を一定に保つ図形とみること</p> <p>○点が円周上、円の内部、外部にあるときと円周角の大きさを比べ、これをもとに、円周角の定理の逆を導くこと</p> <p>○円周角の定理の逆を利用して、4点が1つの円周上にあるかどうかを判断すること</p> <p>○円周角の定理の逆を利用して、図形の</p>	●	●	●	<p><b>【関心】</b></p> <p>①円周角と中心角の関係に関心を持ち、その関係を調べようとする。</p> <p>②円周角の定理の逆に関心を持ち、その関係を調べたり利用しようとする。</p> <p>・教師の観察、提出物点検</p> <p><b>【見方・考え方】</b></p> <p>①円周角と弧の定理を利用して、図形の性質を考察することができる。</p> <p>②直径と円周角の定理を利用して、図形の性質を考察することができる。</p> <p>③円周角の定理の逆を利用して、図形の性質を考察することができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>①円周角の定理を使って円につ</p>

		<p>性質を証明すること</p> <p>○円周角の定理を利用して、等しい大きさの角を作図すること</p> <p>○円周角の定理を利用して、いろいろな図をかき、成り立つ性質を調べる。</p>	●	●	<p>いてのいろいろな角を求めることができる。</p> <p>②円周角の定理の逆を利用して、4点が同一円周上にあることを判断することができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>①円周角の定理とその逆を理解している。</p> <p>②円周角と弧の関係、直径と円周角の関係を理解している。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p>
	<p>2節 円周角の定理の利用</p> <p>4時間</p>	<p>○円周角の定理を利用して、いろいろな作図の方法を考えることができる。</p> <p>○円周角の定理を利用して、円と交わる直線でできる図形の性質を考察できる。</p>	●	●	<p><b>【関心】</b></p> <p>①作図の方法や図形の性質を見出すことに関心をもち、円周角の定理を利用して考えようとしている。</p> <p>・教師の観察、提出物点検</p> <p><b>【見方・考え方】</b></p> <p>①円周角の定理を利用して等しい角を作図する方法を考えることができる。</p> <p>②円周角の定理を利用して、円外の1点からの接線を作図する方法を考えることができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【技能】</b></p> <p>①円外の1点からの接線の作図ができる。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <p>①円外の1点からの接線の作図方法を理解している。</p> <p>②円外の1点からの接線の性質を理解している。</p> <p>・小テスト、定期テスト</p>
12月	7章 三平方の定理	<p>○直角をはさむ2辺の長さと、斜辺を1辺とする正方形の面積について予想した関係を証明すること</p>	●	●	<p><b>【関心】</b></p> <p>①直角三角形の3つの辺それぞれを1辺とする正方形の面積の間の関係をとらえようとする。</p>

1 節 三平方の定理  7 時間	<p>○三平方の定理</p> <p>○三平方の定理を証明することと、いろいろな証明方法を知ること</p> <p>○三平方の定理を利用して辺の長さを求めること</p> <p>○三平方の定理の逆</p> <p>○三平方の定理の逆を利用して、三角形が直角三角形であるかどうかを判断する</p> <p>○ 直角二等辺三角形と鋭角が<math>30^\circ</math>、<math>60^\circ</math> の辺の比が言え、それを利用することができる</p>	●	●	●	●	<p>● ・教師の観察、提出物点検</p> <p>【見方・考え方】</p> <p>①直角三角形の3つの辺それぞれを1辺とする正方形の面積の間の関係をとらえようとする。</p> <p>● ・小テスト、定期テスト</p> <p>● 【技能】</p> <p>①三平方の定理を使って、直角三角形の未知の辺の長さを求めることができる。</p> <p>● ②三平方の定理の逆を使って、ある三角形が直角三角形であるかどうかを判別することができる。</p> <p>● ・小テスト、定期テスト</p> <p>● 【知識・理解】</p> <p>①三平方の定理がいえ、それを利用することができる。</p> <p>● ②三平方の定理やその逆がいえる。</p> <p>● ・小テスト、定期テスト</p>
2 節 三平方の定理 の利用  6 時間	<p>○正方形の対角線の長さを求める</p> <p>○正三角形の高さを求める</p> <p>○長方形の対角線や二等辺三角形の高さを求める</p> <p>○特別な直角三角形の辺の長さの比</p> <p>○2点間の距離を求めること</p> <p>○円の弦の長さ、級の切り口の円の半径を求めること</p> <p>○直方体の対角線の長さを求めること</p> <p>○円錐や角錐の高さを求め、それを使って体積を求めること</p> <p>○三平方の定理を利用して、最短の距離を求めること</p> <p>○三平方の定理を利用して、具体的な場面における長さを求めることができる。</p> <p>○線分の長さを、三平方の定理や図形の性質を利用して求めることができる。</p>	●	●	●	●	<p>● 【関心】</p> <p>● ①いろいろな図形の中に直角三角形をつくって三平方の定理を適用することができる。</p> <p>● ・教師の観察、提出物点検</p> <p>● 【見方・考え方】</p> <p>● ①いろいろな図形の中に直角三角形をつくって三平方の定理を適用することができる。</p> <p>● ・小テスト、定期テスト</p> <p>● 【技能】</p> <p>● ①三平方の定理を使って、目的の辺の長さを求めることができる。</p> <p>● ・小テスト、定期テスト</p> <p>● 【知識・理解】</p> <p>● ①直角二等辺三角形と鋭角が<math>30^\circ</math>、<math>60^\circ</math> の辺の比が言え、それを利用することができる。</p> <p>● ・小テスト、定期テスト</p>

1 月	8章 標本調査  1節 母集団と標本  5時間	○世論調査など、身の回りにある標本調査について、その方法などを調べる ○無作為に抽出することの意味 ○標本調査では無作為抽出が行われていることを知ること ○標本調査、全数調査の意味 ○標本調査が行われるわけ ○母集団、標本の意味 ○標本調査では無作為に抽出しなければならないわけを考えること ○模擬的に行う標本調査の実験方法について知ること ○無作為に抽出する方法を知ること ○標本調査について、模擬的に実験する ○1日の睡眠時間について、実際に標本調査を行い、結果を比較する。 ○標本調査の簡単な例から、母集団の傾向を読み取る。	●	●	●	● 【関心】 ①身近な事象の調査に関心を持ち、その必要性や意味を考えようとしている。 ・教師の観察、提出物点検 ● 【見方・考え方】 ● ①標本調査について、標本をもとにして母集団の傾向を読み取ることができる。 ・小テスト、定期テスト ● 【技能】 ● ①傾向を把握するために標本調査を行い、標本を整理することができる。 ・小テスト、定期テスト ● 【知識・理解】 ● ①全数調査、標本調査の内容が理解できる。 ・小テスト、定期テスト
2 月  3 月	1, 2, 3年 総復習  29時間	○1年の復習 ○2年の復習 ○3年の復習				